真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度

事務事業評価マネージメントシート

作成日　令和8年5月1日

事務事業名	美術品展示館・久保資料室運営事業		担当課・係	教育委員会　文化課　文化振興係
政策名　No	1	「人づくり」～豊かなこころアップ！～	関連する SDGs･DX	
施策名　No	7	文化芸術の振興と文化財の保護・継承		

成果指標	名　称	初年度からの実績値の比較						目標値
		単　位	R7	R8	R9	R10	R11	R11
	美術品展示館入館者数	人	11,673					
	久保資料室入場者数	人	6,913					

事業内容

"・平成２６年１０月に開館した美術品展示館・久保資料室の運営事業。
県内外の美術館と連動した企画展の開催、ギャラリートークツアーやスタンプラリー等各種取り組みにより入館者数は増加傾向にある。
"

前年度の課題（Check）

R6真岡市美術展開催年度

７年度振り返り

【１】実績（Do）７年度に実施した事業

"一般社団法人「地域創造」主催「公立美術館活性化事業」における「R8共同巡回展真岡市所蔵没後30年記念久保貞次郎コレクション展」実施準備への協力
・開催予定美術館への展示助言、作品調査への対応、実行委員会会議への参加等予定
※本事業協力により２年間（Ｒ７～８）で「（一財）地域創造」より200万円協力金の支給あり。"

【２】結果と課題（Check）

市民が気軽に美術品を鑑賞できるよう、まちかど美術館や観光部門と連携強化を図る。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　□ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　■ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【３】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

（1）ただちに取り組むべきこと

R8共同巡回展
「真岡市所蔵没後30年記念久保貞次郎コレクション展」への協力として、総合開会式5/30を皮切りに、全国４館に学芸員を派遣し、展示方法への助言、指導を行う。
地域創造協力金から
・美術品展示館壁面補強改修工事の実施
・作品図録製作
・久保資料室垂れ幕印刷等を実施する。

（2）長期的な計画で検討すること

久保記念館２階に設置し、老朽化している久保資料室の改修